

2024 年度事業報告書

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人みかんぐみ

1 事業の成果

2024 年度は、各事業が本格的にコロナ禍前の形に回帰し、対面での取り組みを軸とした活動の幅が広がった一年であった。コミュニティ創出事業では、親子で安心して参加できるイベントの継続実施により、親子の体験の場、他者とのつながりの場としての存在感を一層高めることができた。子どもと保護者がともに過ごす時間を通じ、単なる「楽しさ」だけでなく、「安心して過ごせる場」の重要性を改めて確認する機会ともなった。

ネットワーク構築事業では、杉並区からの委託を受けて実施している「ピア交流会（ピアカフェマレード）」が、リピート参加者を含む多くの当事者と家族にとって、継続的に安心できる拠り所となった。ピアスタッフ自身が経験を語り、参加者に寄り添う中で気づきや学びを得ており、自身のこれまでの肯定的に捉え直す契機ともなっている。これは、まさに「当事者による当事者のための活動」の根幹を体現する取り組みである。

さらに、2024 年度の大きな成果として、医療的ケア児・重症心身障害児に関わるピアサポートネットワークを秋に立ち上げた。全国の当事者および支援者を緩やかにつなぎ、地域や立場を超えた横の連携を生み出す活動が始動した。オンラインを活用した情報共有や交流の試みは、今後のピア活動の新たな可能性を示すものであり、活動基盤の広がりを感じさせる。

地域に根差した文化活動としては、今年度も荻窪音楽祭に参加し、障害の有無にかかわらず誰もが楽しめる「インクルーシブコンサート」を開催した。観客が一体となり音楽を楽しむ様子からは、「共に生きる」社会の実現に向けた確かな手応えを感じた。

また、看護職のキャリア選択肢を広げる取り組みとして、「交流イベント」と「暮らしの見学」の二本立てで活動を展開した。医療的ケアが必要な子どもたちの暮らしや支援の実際に触れることで、参加者が将来の進路をより具体的に描く手助けとなった。当事者や家族の「生の声」は、医療職を志す方々にとって大きな気づきをもたらす貴重な資源である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 8437】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
障害児者（医療的ケア児者を含む）とその家族のためのコミュニティ創出事業	・BBQ 遠足 ・リトミック ・クリスマスコンサート ・バスツアー(旅行)	6 月 9 日 10 月 14 日 12 月 8 日 2 月 9 日	昭和記念公園 区内 区内 いわふねフルーツパーク	15	重症心身障害児者、保護者等	200	998
障害児者（医療的ケア児者を含む）に関する調査、研究および情報発信事業	既存出版物の販売 杉並区障害者週間事業パネル展参加	既存出版物「おうちで暮らすガイドブック」その他既存出版物の販売。					18

障害児者（医療的ケア児者を含む）とその家族のための就労支援事業	就労を希望するものの時間的制約の多い障害児の保護者向けにクラウドソーシングを利用した在宅での就労を支援する。	通年	杉並区内、杉並区近隣区	1	障害児の保護者等	8	939
教育、医療、福祉に関する情報交換およびネットワーク構築事業	・ピアサポート交流事業(杉並区から委託事業)	5月23日 7月8日 9月13日 11月28日 1月23日 3月10日	杉並区高井戸保健センター		障害児の保護者等	50	1,787
	・ピアサポート立ち上げ事業 ・医療的ケア児・重症児等とその家族を支援するための看護職を増やす事業 ・医ケア児・重心児ピアサポートネットワークの立ち上げと運営 ・「暮らし」見学プログラム	通年	オンラインおよび神奈川、金沢・三重・多摩立川保健所/国分寺・愛知・東村山・沖縄を訪問	10	障害児の保護者、関係者、看護職従事者等	150	4,460
	・保健師座談会 ・医療的ケア児・重心児とご家族、看護職・看護学生との交流イベント ・インクルーシブコンサート ・私たちのピアサポート交流会のつくり方シンポジウム ・大学等への講義	10月22日 11月3日 11月10日 3月5日 4回	杉並区内および主催地域に出張して実施	15	障害児の保護者、関係者、地域住民等	100	250
障害児者（医療的ケア児者を含む）のための福祉施設等の運営に関する事業	区内、区外の施設見学	未実施					0
福祉機器等の開発事業	需要のある福祉機器などの調査を当事者・家族へのアンケートにて実施	未実施					0

（２）その他の事業

（事業費の総費用【 】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)